

# Asociado

## みんなの元気のパートナー

2022年  
12月



今年のカレンダーも残すところあとひと月分となりました。

木村病院は5月に移転という法人としての大イベントがあり、今年は、「あっ」という間に過ぎて行った感があります。

COVID-19は第8波を迎え、その上インフルエンザの患者さんもみられ始めてます。そして、私共医療機関は、医療崩壊を招かないよう尚一層緊張した日々を送っています。

インフルエンザとCOVID-19のワクチン接種は同時にすることができる、もし、罹患した場合でもワクチン接種しなかった方より重症化しないと言われています。当院でも予約を受付しておりますのでどうぞご利用ください。とは言え、皆様から電話の問合せ等が多く、特に朝はつながりにくい状態となっておりますことをお詫びいたします。

さて、毎年皆様にお伝えしている2021年度分「病院の機能や診療の状況を示す数値」をお知らせいたします。2021年度は町屋の病院の最後の集計数値となります。

COVID-19の流行は2020年度、2021年度の数値に大きく影響しました。

2022年5月からは南千住の新しい病院での移行期の数字となり、ベッド数も88床から99床に増え、透析やMRI検査、高気圧酸素療法も始めましたので町屋の病院との推移を見ることはできないと考えます。そして、新しい病院の歴史の一歩が始まります。

新しい南千住の病院では旧病院とは外来運用も大きく変わり、当初、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あり申し訳ありませんでした。

AI問診(タブレットを使った問診)のような新しい事も始めました。時代に沿った病院として努力してまいりますので今後ともよろしくお願ひいたします。

社会医療法人一成会 木村病院  
院長 木村 玄

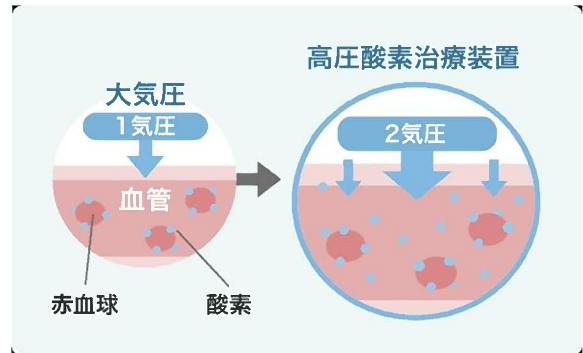




## 高気圧酸素療法とは?

高気圧酸素治療装置の中に入り、2~3気圧に加圧された状態で、純酸素吸入することにより血液中の酸素濃度を通常の10~20倍にすることが出来ます。この原理を利用し、患部に血液を介して多くの酸素を送り、障害組織の再生、炎症の早期沈静化を促す治療法が高気圧酸素です。

高い気圧の中では酸素が圧縮して、直接血液に溶け込みます。



### 治療回数の例

脳梗塞： 1日1回 約1時間30分 × 10回  
突発性難聴、網膜動脈閉塞症などの場合：  
1日1回 約1時間30分 × 30回

※ 疾患状況や医師の指示により増減することがあります。

※ 外来の場合、初回は治療前に診察を行い、2回目以降は治療後に診察を行います。

### 幅広い疾患が対象になります

- 脳梗塞
- 重症頭部外傷後もしくは開頭術後の意識障害
- または脳浮腫
- 急性一酸化炭素中毒およびその他のガス中毒
- 重症軟部組織感染症
- 壊死性筋膜炎、ガス壊疽(または頭蓋内膿瘍)
- 急性末梢血管障害
- 減圧症または空気塞栓
- 突発性難聴
- 網膜動脈閉塞症
- 脊髄神経疾患
- 骨髄炎または放射線障害
- 放射線または抗がん剤治療と併用される
- 悪性腫瘍
- 重症の低酸素脳症
- 腸閉塞
- 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- 皮膚移植

高気圧酸素療法をご希望の方は外来受診が必要です。

外来受診の時に担当医にお申し出ください。

ホームページもご参照ください。

<https://www.kimura-hp.or.jp/>

